

持続発展教育の理念普及に向けて

新年度が始まり、ユネスコスクールの承認を受けて2年目を迎えました。校内においては、ESDの全体計画、ESDカレンダー・指導計画、教科・領域の関連が図られて、これから具体的な活動が始められることと思います。

さて、ユネスコスクールの活動において、昨年ユネスコスクールガイドラインが示されました。その中で、ユネスコスクールが持続発展教育推進拠点として発展していくためには、「推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通じて、持続発展教育の理念の普及に努めること。」とあります。

大牟田市内小中学校・特別支援学校では、昨年度は、各学校において総合的な学習を中心に充実した具体的な取組が行われました。

そこで、本年度は、各学校のさらなる充実した取組と共に、実践された成果を地域や保護者に積極的に発信していただければ、持続発展教育の理念の普及に努めることができます。また、いろいろな学校との交流を進めたいと思います

本年度も、ユネスコスクールが持続発展教育の推進拠点として発展していくことを願っています。

本年度の主な行事

(1) ユネスコスクール研修会

平成25年 8月27日(火)10:00~12:00

会場 オオムタガーデンホテル

協議 「自校が目指すESDにける児童生徒の姿について」

講話 文部科学省 岩本 渉 国際交渉分析官

講評 奈良教育大学 加藤 久雄 副学長

(2) ユネスコスクール子どもサミット

平成26年 1月11日(土)10:00~12:00

会場 文化会館 小ホール

(3) ユネスコスクール報告書の作成

○ ユネスコ国内委員会への提出

○ 指導室への提出



大牟田市立大牟田小学校の実践

延命公園の植物・生き物を調べる体験活動を通して

大牟田小学校の4年生は、校区にある延命公園を地域教材として、環境教育に取り組んでいます。「春・夏」と「秋・冬」の2回、GTの方を招き、「植物・樹木」「野鳥」「昆虫」「水辺の生き物」の4つのグループごとに調査活動をしています。

調査活動を通して、延命公園の自然のすばらしさや、自然とのつながり、人とのつながり・かかわりの大切さに気づかせ、延命公園のよさと愛着を深めさせています。



ユネスコスクール地域交流会 in 関東・九州 発表事例集

この度、ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)において、「ユネスコスクール地域交流会in関東・九州 発表事例集」が発刊されました。昨年、地域交流会が11月に東京都多摩市、1月に大牟田市で実施され事例集としてまとめられ、ユネスコスクール加盟校に送られました。本冊子は、地域交流会の様子を報告すると共に、地域との連携、はぐくみたい力、学校間交流、校内体制をテーマに発表された事例をもとに編集されたものです。一読されて、今後のESD活動に生かしていただければと思います。

